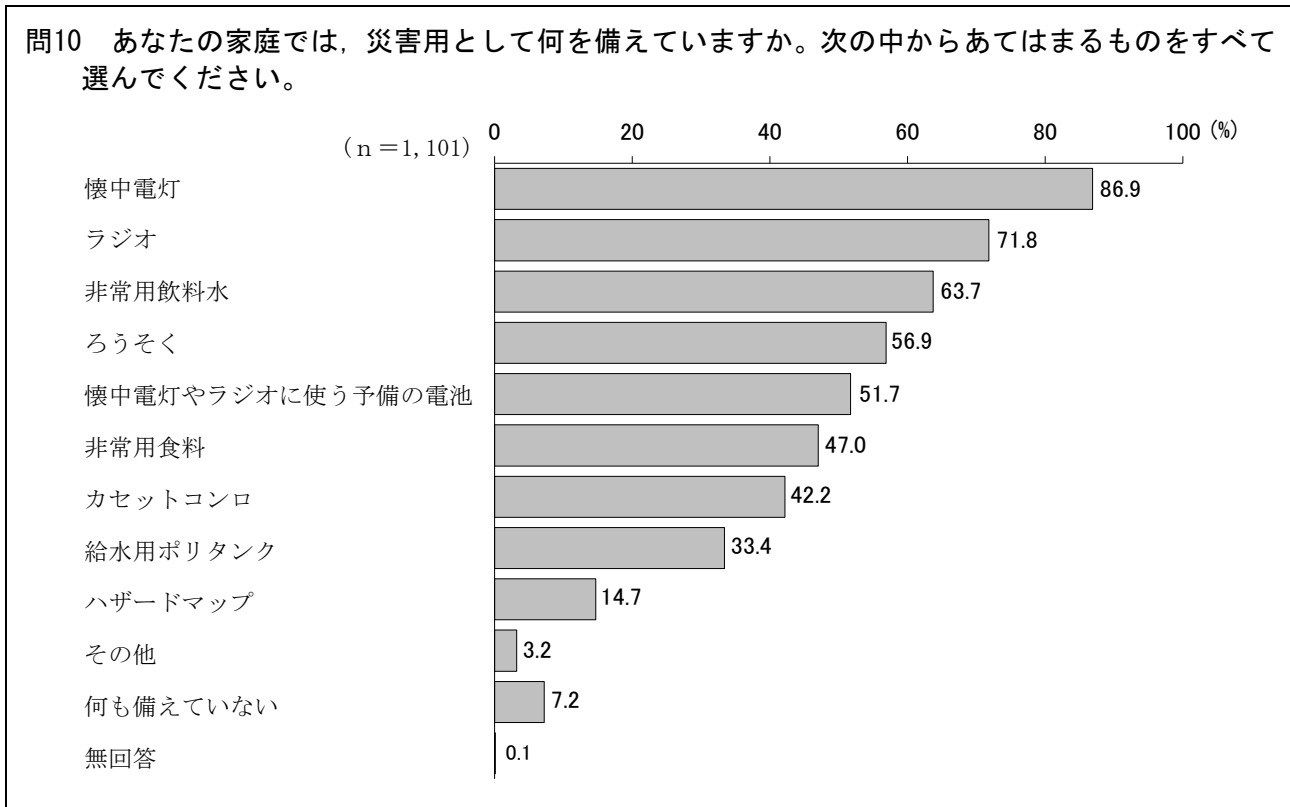


## IV 家庭での防災対策

### 1. 家庭で備えている災害用品

#### (1) 家庭で備えている災害用品

—「懐中電灯」が8割台半ば—



家庭で備えている災害用品としては、「懐中電灯」(86.9%)が8割台半ばと最も高く、次いで、「ラジオ」(71.8%)が7割台、「非常用飲料水」(63.7%)が6割台、「ろうそく」(56.9%)、「懐中電灯やラジオに使う予備の電池」(51.7%)が5割台で続いている。

—県央で「ろうそく」が約7割—

地域別でみると、「ろうそく」は、県央(68.6%)で約7割と最も高くなっている。

—女性で「非常用食料」, 「非常用飲料水」, 「ろうそく」が高い—

性別でみると、「非常用食料」は、女性(53.6%)が男性(39.9%)よりも約14ポイント、「非常用飲料水」は、女性(69.3%)が男性(57.4%)よりも約12ポイント、「ろうそく」は、女性(61.9%)が男性(51.3%)よりも約11ポイント、それぞれ高くなっている。

—管理職で「非常用飲料水」, 「ろうそく」, 「懐中電灯やラジオに使う予備の電池」が高い—

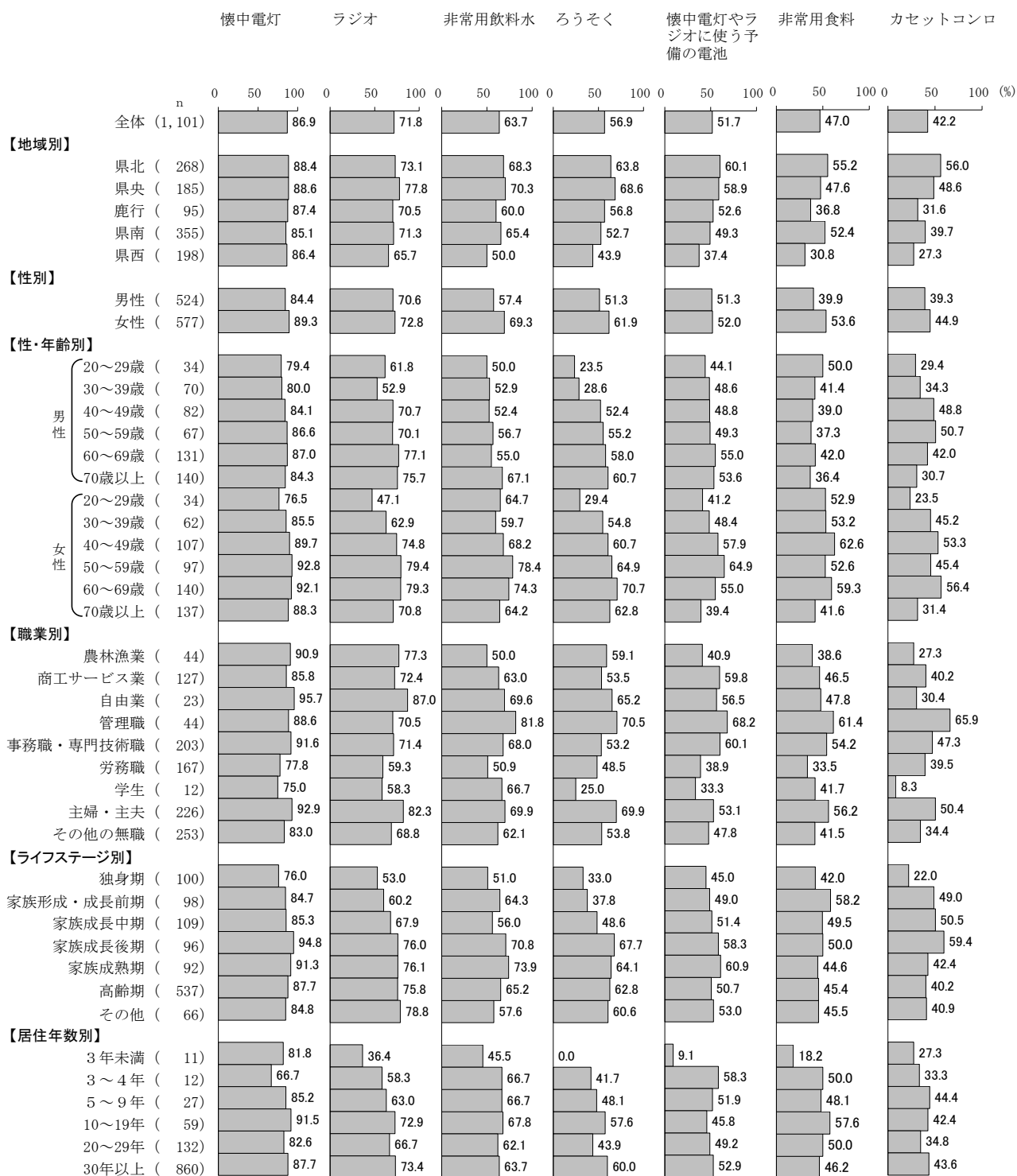
職業別でみると、「非常用飲料水」は、管理職(81.8%)で8割を超え、「ろうそく」は、管理職(70.5%)で7割台前半、「懐中電灯やラジオに使う予備の電池」は、管理職(68.2%)で約7割と、それぞれ最も高くなっている。

—家族成熟期で「非常用飲料水」が7割台半ば—

ライフステージ別でみると、「非常用飲料水」は、家族成熟期(73.9%)で7割台半ばと最も高くなっている。

### 図IV 10-1 家庭で備えている災害用品

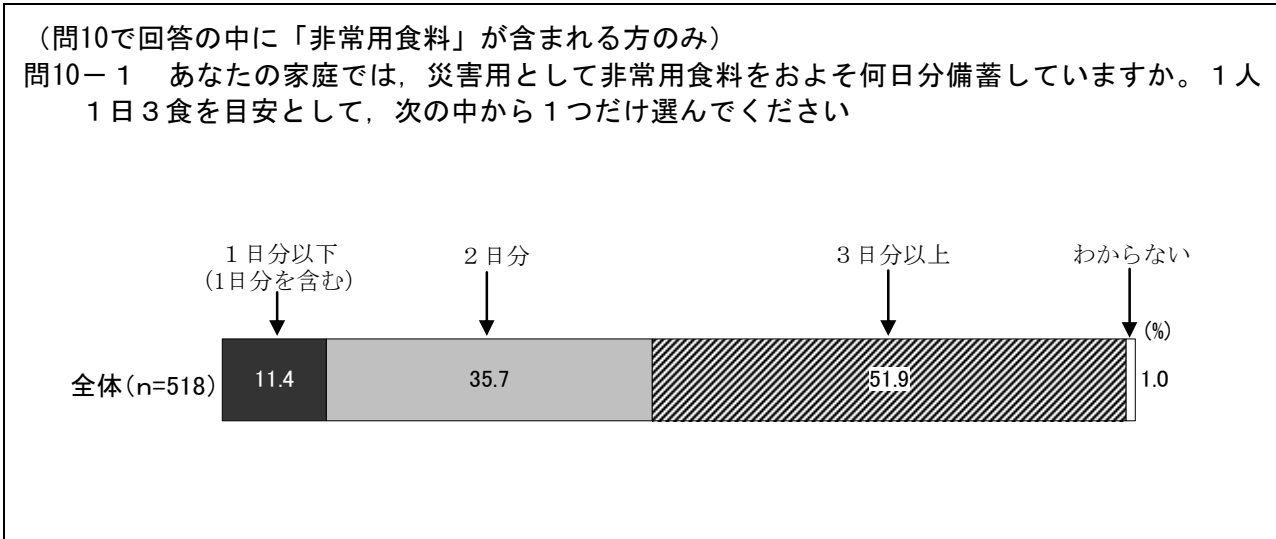
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)



(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。

(2) 非常用食料の備蓄量

—「3日分以上」が5割超—



家庭で備えている災害用品として「非常用食料」と回答した方に、非常用食料の備蓄量を聞いたところ、「3日分以上」(51.9%)が5割を超えて最も高く、次いで、「2日分」(35.7%)が3割台、「1日分以下(1日分を含む)」(11.4%)が1割台となっている。

—県南で「3日分以上」が約6割—

地域別でみると、「3日分以上」は、県南(57.5%)で約6割と最も高くなっている。

—女性の50代で「3日分以上」が7割超—

性・年齢別でみると、「3日分以上」は、女性の50代(72.5%)で7割を超えて最も高くなっている。

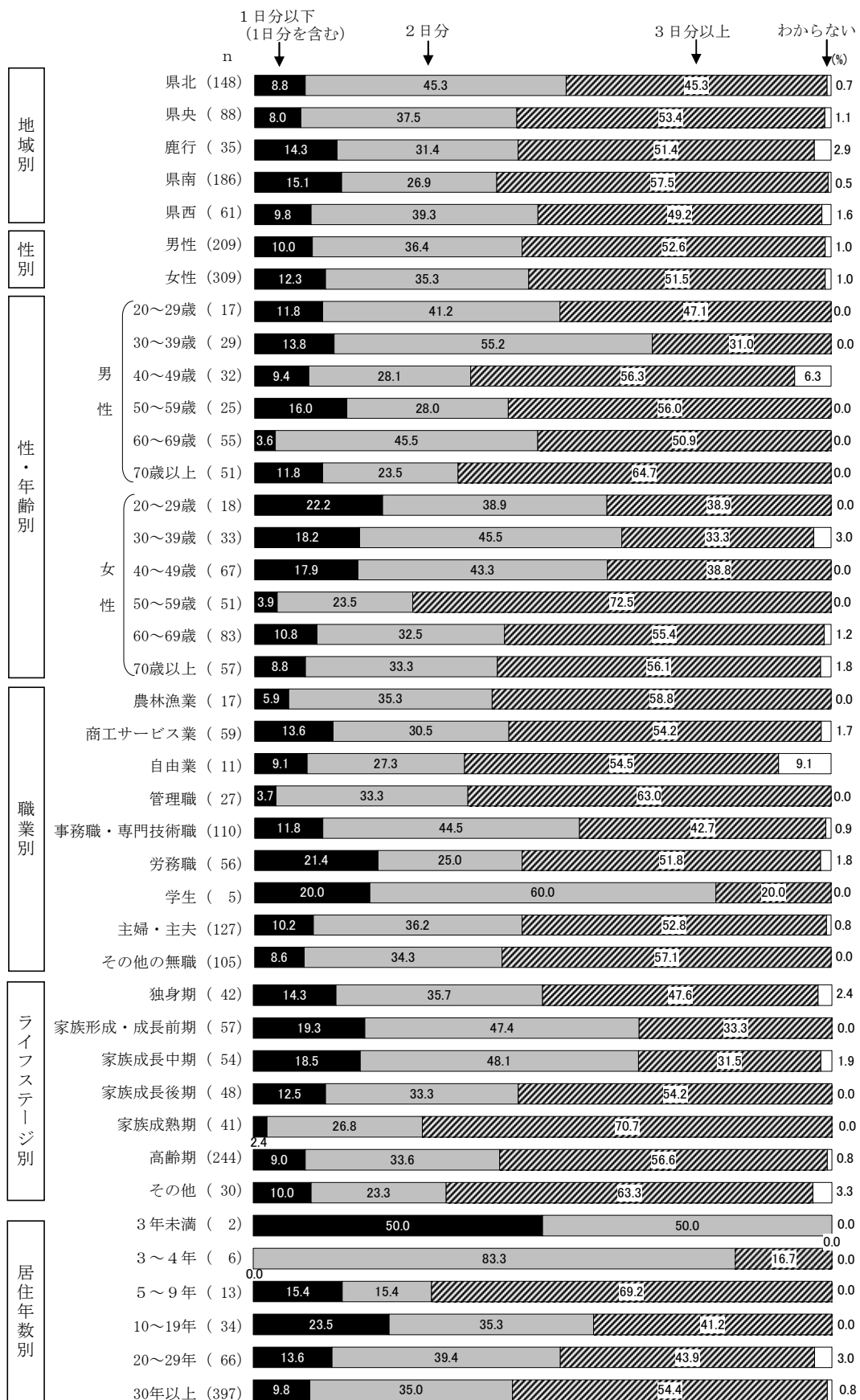
—管理職で「3日分以上」が6割台半ば—

職業別でみると、「3日分以上」は、管理職(63.0%)で6割台半ばと最も高くなっている。

—家族成熟期で「3日分以上」が約7割—

ライフステージ別でみると、「3日分以上」は、家族成熟期(70.7%)で約7割と最も高くなっている。

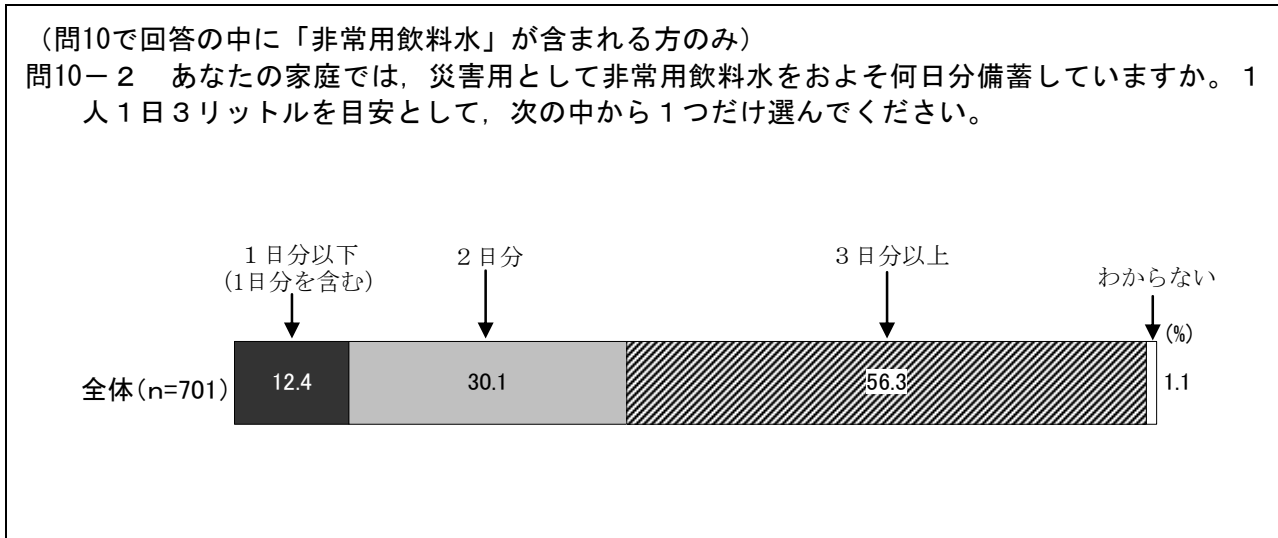
図Ⅳ 10-1-1 非常用食料の備蓄量  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。

(3) 非常用飲料水の備蓄量

—「3日分以上」が5割台半ば—



家庭で備えている災害用品として「非常用飲料水」と回答した方に、非常用飲料水の備蓄量を聞いたところ、「3日分以上」(56.3%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「2日分」(30.1%)が3割台、「1日分以下(1日分を含む)」(12.4%)が1割台となっている。

—男女ともに70歳以上で「3日分以上」が6割超—

性・年齢別でみると、「3日分以上」は、男性の70歳以上(62.8%)と女性の70歳以上(62.5%)で6割を超えて高くなっている。

—農林漁業で「3日分以上」が6割台半ば—

職業別でみると、「3日分以上」は、農林漁業(63.6%)で6割台半ばと最も高くなっている。

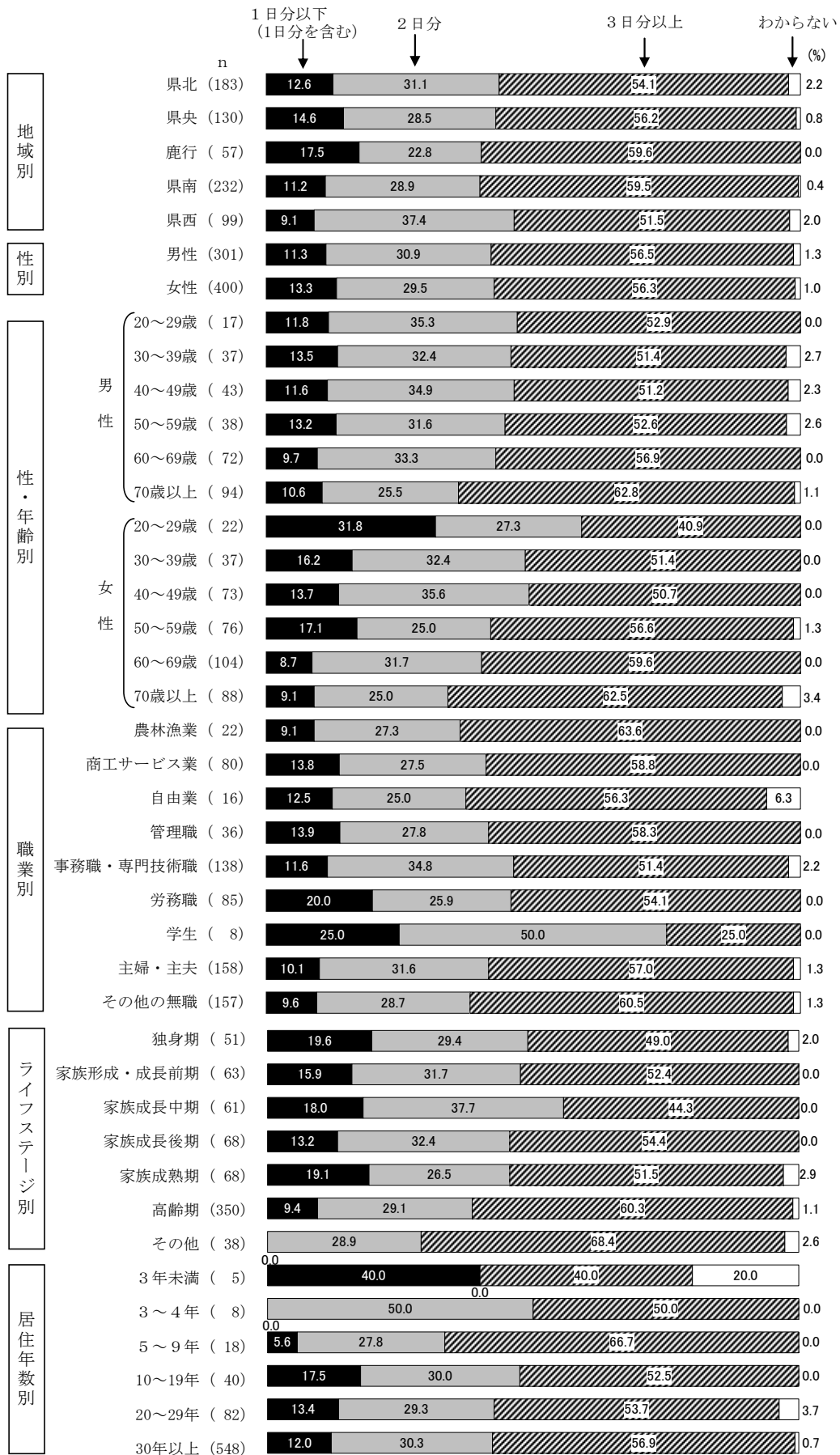
—ライフステージ別のその他で「3日分以上」が約7割—

ライフステージ別でみると、「3日分以上」は、その他(68.4%)で約7割と最も高くなっている。

—独身期、家族成長中期、家族成熟期で「1日分以下(1日分を含む)」が約2割—

ライフステージ別でみると、「1日分以下(1日分を含む)」は、独身期(19.6%)、家族成長中期(18.0%)、家族成熟期(19.1%)で約2割と高くなっている。

図IV 10-2-1 非常用飲料水の備蓄量  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

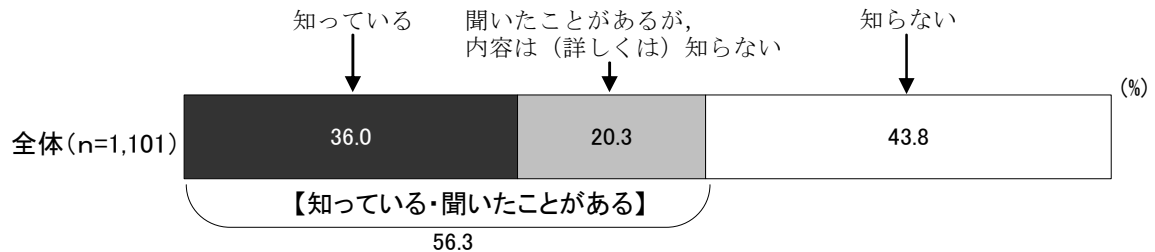


(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない

## 2. 自主防災組織の認知度

—【知っている・聞いたことがある】が5割台半ば—

問11 あなたは、町内会や自治会などを単位として地域の人が助け合って防災に取り組む「自主防災組織」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。



自主防災組織の認知度としては、「知っている」(36.0%)と「聞いたことがあるが、内容は（詳しくは）知らない」(20.3%)を合わせた【知っている・聞いたことがある】(56.3%)が5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(43.8%)は4割台半ばとなっている。

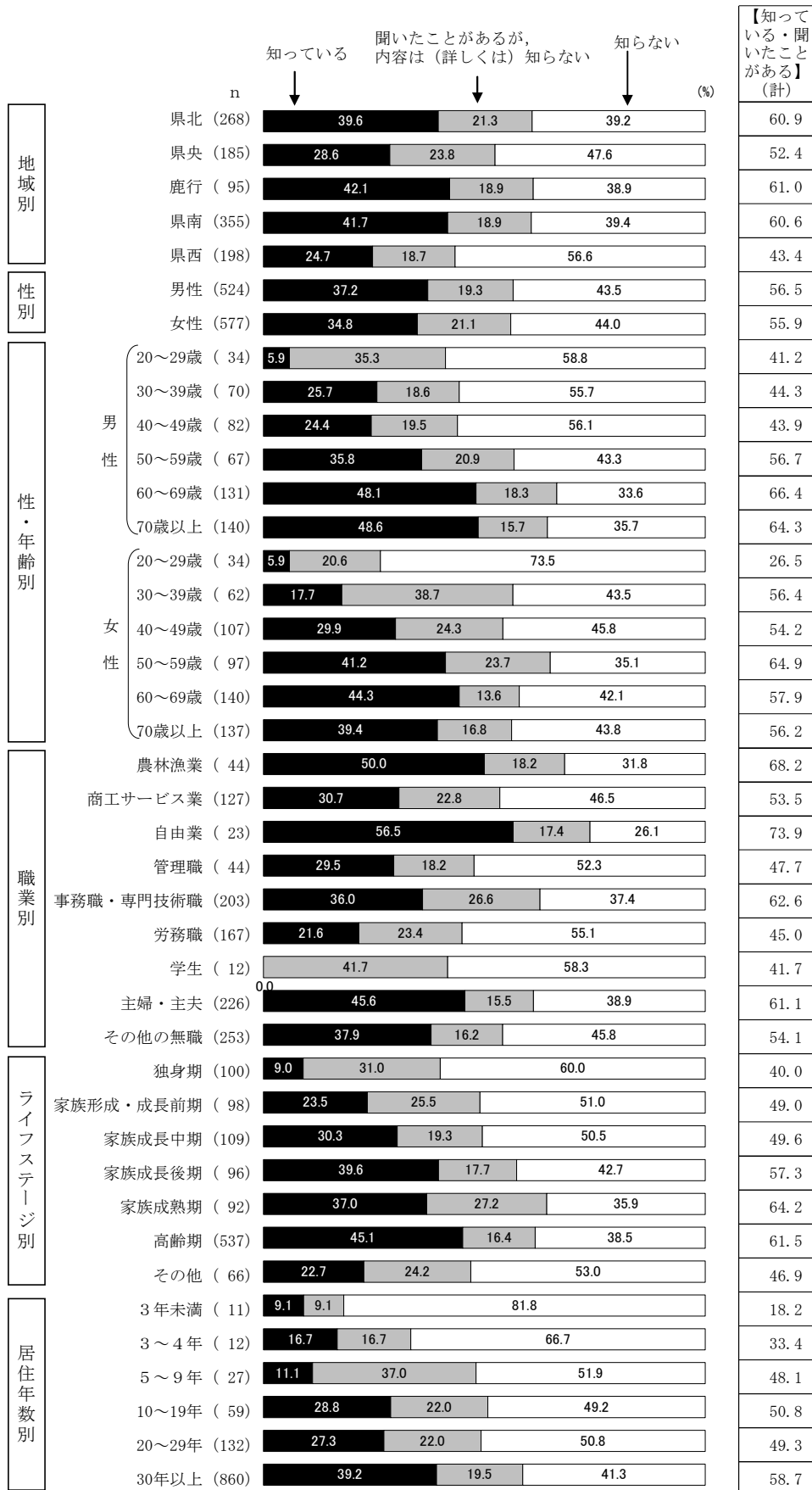
—男性の60代と70歳以上、女性の50代で【知っている・聞いたことがある】が6割台半ば—  
性・年齢別でみると、【知っている・聞いたことがある】は、男性の60代(66.4%)と70歳以上(64.3%)、女性の50代(64.9%)で6割台半ばと高くなっている。

—農林漁業で【知っている・聞いたことがある】が約7割—  
職業別でみると、【知っている・聞いたことがある】は、農林漁業(68.2%)で約7割と最も高くなっている。

—家族成熟期で【知っている・聞いたことがある】が6割台半ば—  
ライフステージ別でみると、【知っている・聞いたことがある】は、家族成熟期(64.2%)で6割台半ばと最も高くなっている。

図IV 11-1 自主防災組織の認知度

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



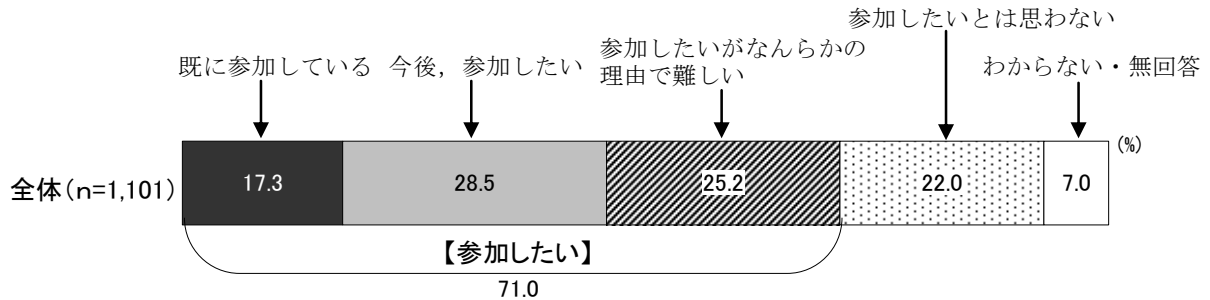
(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。



### 3. 防災活動への参加意向

—【参加したい】が7割超—

問12 自主防災組織では、平常時には、防災に関する普及啓発活動や防災訓練、災害時には、初期消火や避難誘導、給水活動などを行っています。あなたはこういった防災活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



防災活動への参加意向としては、「既に参加している」(17.3%)と「今後、参加したい」(28.5%)、「参加したいがなんらかの理由で難しい」(25.2%)を合わせた【参加したい】(71.0%)が7割を超えている。一方、「参加したいとは思わない」(22.0%)は2割を超えている。

—鹿行で【参加したい】が8割台半ば—

地域別でみると、【参加したい】は、鹿行(84.2%)で8割台半ばと最も高くなっている。

—女性の50代で【参加したい】が8割台半ば—

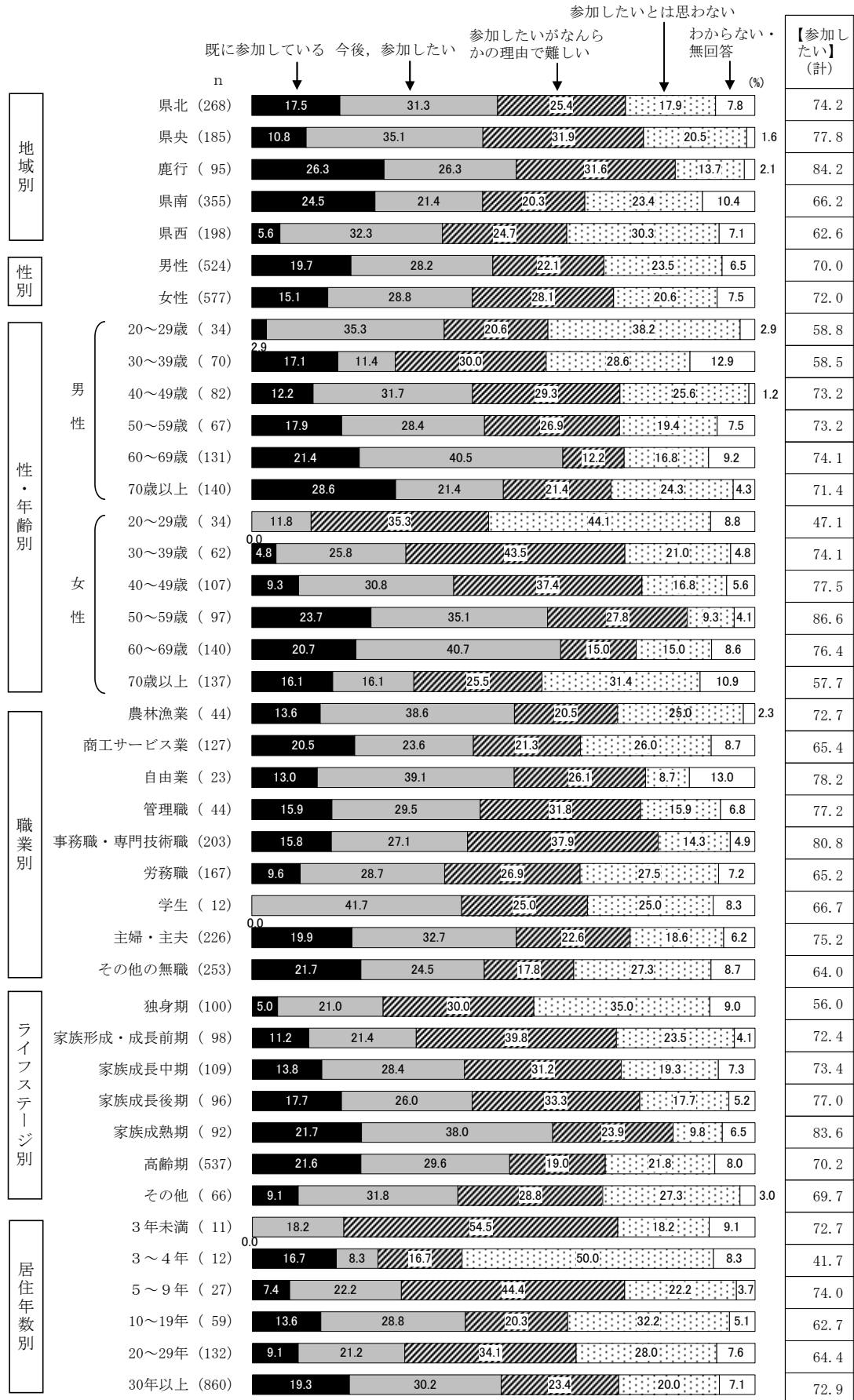
性・年齢別でみると、【参加したい】は、女性の50代(86.6%)で8割台半ばと最も高くなっている。

—家族成熟期で【参加したい】が8割台半ば—

ライフステージ別でみると、【参加したい】は、家族成熟期(83.6%)で8割台半ばと最も高くなっている。

図IV 12-1 防災活動への参加意向

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

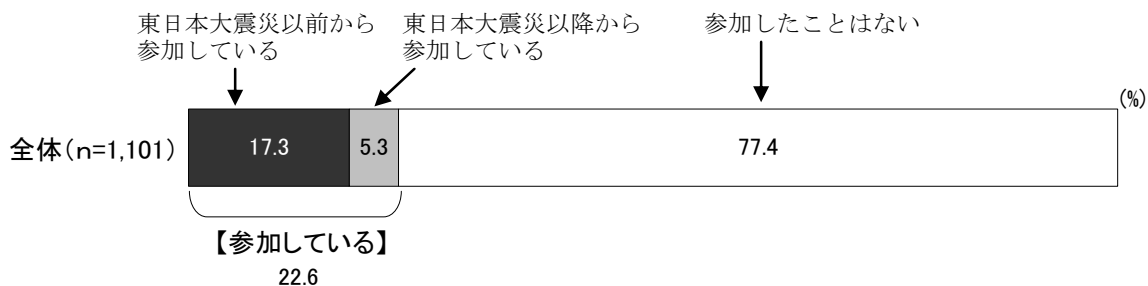


(注) 回答者数が30未満の層は分析でふれていない。

#### 4. 防災訓練への参加状況

—「参加したことはない」が約8割—

問13 あなたは、県や市町村、自主防災組織などが実施する防災訓練に参加していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。



防災訓練への参加状況としては、「参加したことはない」(77.4%)が約8割となっている。一方、「東日本大震災以前から参加している」(17.3%)と「東日本大震災以降から参加している」(5.3%)を合わせた【参加している】(22.6%)が2割を超えている。

—県西で「参加したことはない」が約9割—

地域別でみると、「参加したことはない」は、県西(90.9%)で約9割と最も高くなっている。

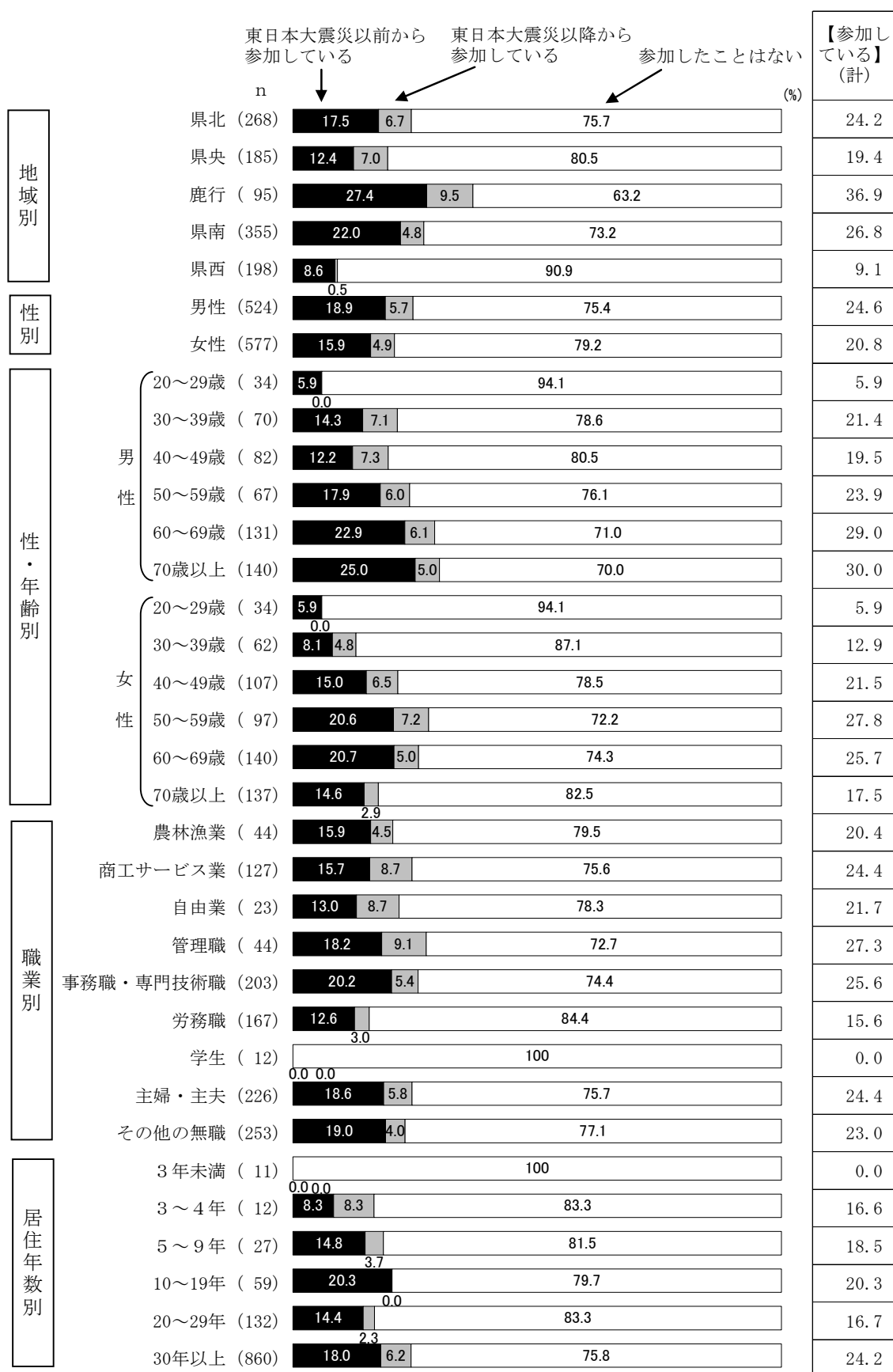
—鹿行で「東日本大震災以前から参加している」が約3割—

地域別でみると、「東日本大震災以前から参加している」は、鹿行(27.4%)で約3割と最も高くなっている。

—男女ともに20代で「参加したことはない」が9割台半ば—

性・年齢別でみると、「参加したことはない」は、男性の20代(94.1%)と女性の20代(94.1%)で9割台半ばと最も高くなっている。

図IV 13-1 防災訓練への参加状況  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30未満の層は分析ではふれていない。